



2022年2月7日

各位

会社名 株式会社タカラトミー
代表者名 代表取締役社長 小島 一洋
(コード番号 7867 東証第1部)
問い合わせ先 執行役員 連結管理本部長 伊藤 豪史郎
(TEL 03-5654-1548)

通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、下記の通り2021年5月11日に公表した通期連結業績予想及び配当予想を修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 155,000	百万円 8,000	百万円 7,600	百万円 6,500	円 銭 69.02
今回修正予想（B）	160,000	11,000	11,000	7,500	80.68
増減額（B-A）	5,000	3,000	3,400	1,000	—
増減率（%）	3.2	37.5	44.7	15.4	—
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	141,218	7,079	7,170	5,374	57.07

修正の理由

2021年10月28日公表の2022年3月期第2四半期（累計）連結業績予想の修正においては、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大の懸念や年末年始商戦の動向等、不確定要因が残されていたことから、通期連結業績予想は前回発表予想を据え置いておりました。

その後、当社グループの最大商戦期である年末年始商戦において、玩具出荷が順調に推移するとともに、アミューズメントマシン「ポケモンメザスタ」やガチャ事業も拡大が継続いたしました。一方で、新たな変異株による感染拡大がみられるなど、厳しい市場環境と不確定要因は残されているものの、売上高は前回発表予想を上回る見込みとなりました。

利益面につきましては、第4四半期には新年度に向けた広告宣伝費など先行投資を行うとともに、海外における物流混乱に伴うコスト高騰の影響が引き続き見込まれるものの、売上高の増加による粗利増並びに販売費及び一般管理費の効率的な運用を図ること等により、前回発表予想を上回る見込みであります。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2021年5月11日)	—	10円00銭	20円00銭
今回修正予想	—	20円00銭	30円00銭
当期実績	10円00銭	—	—
前期実績 (2021年3月期)	7円50銭	10円00銭	17円50銭

修正の理由

当社は株主に対する安定的な利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しております。経営基盤の強化と利益率の向上に努めるとともに、安定的な配当の継続を基本に業績及び配当性向等を勘案し、配当金額を決定しております。

2022年3月期の期末配当予想につきましては、1株当たり10円とさせていただいておりましたが、前述に記載の通期連結業績予想の修正及び当社の配当政策を踏まえ、1株当たり20円にさせていただきます。これにより、年間配当予想は1株当たり30円となります。

【業績等の予想に関する注意事項】

この資料に記載されております業績等の予想数値につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しており、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上